

伝千葉一族の墓地

(でん ちばいちぞくのぼち)

板橋区登録記念物(史跡) 昭和61年2月14日登録

所在地：板橋区赤塚8-4-9 松月院

交通：東武東上線「下赤塚」駅

徒歩17分

国際興業バス「赤塚八丁目」

徒歩1分

松月院は、山号を万吉山、寺号を宝持寺とする曹洞宗寺院です。境内には康正2年(1456)に下総での戦いに敗れ、市川城から武蔵の赤塚城・石浜城などに入部し、同寺を菩提寺とした千葉一族の墓地があります。文化9年(1812)に斉藤幸孝が記した『赤塚紀行』にも松月院千葉碑として挿絵入りでこの墓地の記述がありますが、その絵は墓石の配置や形態などの点で現状に近い形に描かれています。向かって右側のものが松月院殿南州玄参大禅定門と号する千葉介自秀の墓で、永正3年(1506)の年号がありますが、前書や『新編武蔵風土記』などでは、後世に造立された墓碑であるとしています。当寺はこの墓を開基自胤のものとし、自秀と誤記したものとしています。また、前書で自秀室の墓とされる比丘尼了雲の宝篋印塔は、元徳元年(1329)の年号が刻まれている区内最古の墓碑で、武蔵千葉氏が入部する以前の寺院の状況が想定できる貴重な資料です。

